

News Release

全国各地で展開するJA共済の地域貢献活動を紹介

JA共済地域貢献活動ホームページにて「JA共済 地域貢献活動REPORT2020」
および「一緒に地域を咲かせよう」(動画)を11月6日より公開。

JA共済連(全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 柳井 二三夫)は、この度、地域JAと連携して全国各地で展開する地域貢献活動を紹介する『JA共済 地域貢献活動REPORT2020』、『一緒に地域を咲かせよう』(動画)を製作し、11月6日よりホームページで公開しました。

『JA共済 地域貢献活動REPORT2020』

<https://social.ja-kyosai.or.jp/contribution/Introduction.html>



『一緒に地域を咲かせよう』(動画)

https://social.ja-kyosai.or.jp/prefecture_case/



JA共済連では、「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供とともに、病気や事故などの未然防止や万一の際の事後支援活動といった地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。この2つの活動は車の両輪の関係にあり、相互に機能することにより「安全・安心」の輪を広げていきたいと考えています。

令和元年度、JA共済連では年間約5,000件の地域貢献活動を実施しており、このうち9割以上にあたる約4,600件について、地元のJAと連携した取組みを行いました。各都道府県の主な活動については、『JA共済 地域貢献活動REPORT2020』をご覧ください。

各県域で実施した活動の中には食育イベントや農業体験の開催支援、ドローンなどの先進機器の寄贈、また将来の担い手を育成する農業高校への農機具の寄贈など、地域の食と農の活性化に向けた取組みがありました。

また、健康教室の開催や防災用品等の寄贈、自転車交通安全啓発活動など、「営農・暮らし・ひと・いえ・くるま」に関わる幅広い取組みも行いました。こうした多岐に渡る活動を地元JAと連携して取り組むことで、地域ごとに異なる課題やニーズを反映しながら展開することができると考えています。



